

「浅間山、再び積雪」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

すっかり春を迎えた浅間高原だが、まだ朝晩は寒く、ヒーターやストーブが必要である。今朝の未明、関東地方は雷雨になったが、浅間山の山頂付近には雪が降ったようである。

今朝の北軽井沢は、最低気温が 5℃近くまで下がっている。山頂付近は北軽井沢よりも 1500 メートルも高く、気温も 10℃程度低い計算になる。山頂付近の最低気温は-5℃近くになったはずで、降れば必ず雪だったはずである。

北軽井沢に設置したカメラの画像が、山頂付近の積雪の様子や、それがとけてゆく様子を記録していた。



【5月21日朝の浅間山積雪の様子】

- ①午前 4:30 ; まだ暗くて、山肌の様子はよくわからない。しかしうっすらと白くなっているようである。
- ②午前 5:30 ; 天気は快晴になり、山頂付近に朝日が射している。全体的にうっすらと雪化粧している様子がわかる。
- ③午前 6:30 ; 早くも雪が解け始め、山肌本来の色に戻りつつある。
- ④午前 7:30 ; 山頂付近(標高 2400 メートル以上)を残して、雪はほとんど消えてしまった。
- ⑤午前 8:30 ; 山頂付近の白煙(火山の噴気)も手伝ってか、雪は完全に消滅した

最も気温が下がったであろう早朝 4:30 から、完全に雪がなくなるまで、わずか4時間しかかからなかった。浅間山が黒っぽい火山礫で覆われていることも、雪を素早くとかした要因であろう。初夏に近い浅間山では、たとえ積雪があっても、あっという間にとけることがよくわかった。

このカメラは望遠ズームレンズ搭載のネットワークカメラだが、狙っている画角は、浅間山のごく山頂付近(標高 2200 メートルよりも上)のみである。麓から山全体を見た場合、本当に山頂付近の狭い範囲にしか雪は見られなかったと思われる。恐らく気づかなかった人も多かっただろう。実際に北軽井沢の人に電話をして聞いたら、浅間の雪には気づかなかったと話していた。東京の人間が浅間の積雪に気づき、地元の方が、全く気づかなかったわけである。